

## 加西市における生物多様性の取り組みについて

生物多様性の保全を目的とした世界会議「COP10（生物多様性条約第10回締約国会議）」が、10月18日から29日にかけて名古屋市で開催されました。生物多様性とは、あらゆる生物種の多さと、それらによって成り立っている生態系の豊かさやバランスが保たれている状態を言います。

「環境と景観のまちづくり」に取り組む加西市でも、生物多様性に配慮した以下の活動を行っています。

### ■生物多様性地域戦略（仮称）

兵庫県版レッドデータブックによると市内では、ベッコウトンボなど動物の希少種は20種、ミズトラノオなど植物の希少種は62種が確認されています。

これらを含めた生物多様性を育む、ため池や里山などから生まれる経済的価値を再発見・保全し、より有効に利用するためにはどうすれば良いか、その方向性を定める「生物多様性地域戦略」への協力を市内外の民間企業等に呼びかけています。市民参画や公民連携（PPP）の手法で策定し、併せて各種講演・イベントを実施します。

### ■里山の保全・再生の取り組み

近年、高齢化などにより手の入らなくなった里山は、景観の荒廃や生態系の変化など生物多様性が劣化しており、その保全・再生が急務となっています。

市では、地域での環境意識を高めるために市民参画で以下の取り組みを行っています。

#### ・かぐや姫プロジェクト

ボランティアスタッフが、里山を侵食する放置竹林を間伐し、チップや竹炭にして有効活用を図ります。また、間伐に伴う枝葉や残材処理の効率化を図るため樹木粉碎機や炭化装置等を地域に貸し出しています。ボランティアスタッフ募集中。

#### ・与作プロジェクト

放置された広葉樹の山を間伐し、薪にして有効利用を図る「薪割会」の開催や公共施設への薪ストーブの導入などを行っています。薪利用に伴う暖房費用の節約や薪供給を通して化石燃料使用削減によるCO2排出量の削減を進めています。

#### ・里山再生整備事業

集落や個人等が所有する山林を間伐整備し、美しい里山の再生を支援するため、自治会等を対象として、里山整備に関する経費（資機材費、燃料費、種子苗木等）を10万円まで補助しています。お問い合わせは、**農政課**（☎④8741）まで

### ■ため池ふれあいイベント

市内ため池では、毎年「ため池雑魚取り大会」を開催しています。冬の間に池の水を抜いて乾かし、底に沈殿した泥を取り除く「池干し」を行うことで、ため池の生態系を守っています。

### ■水田魚道と自然観察調査

桑原田町で、県「田んぼのいきもの復活事業」の補助を受け、「水田魚道」を設置。ほ場整備等で失われつつある水田地域に生息する魚類等の生物多様性を回復するため住民参加で行い、遡上する魚や生息する昆虫の観察会も開催しました。

### ■「ふるさとの森づくり in 鎮岩工業団地」植樹祭のご案内

三洋電機加西事業所前の市道で植樹を行います。先着300名。

**日時**／平成23年2月11日（金・祝）10:00～12:00、受付9:00～

**場所**／集合：三洋電機鎮岩工場駐車場、植樹：市道鎮岩段下線歩道植樹帯

この植樹は、世界各国で緑化事業に取り組まれている横浜国立大学名誉教授宮脇昭先生のご指導をいただいて、自然の森をイメージし、ふるさとの風土に適した多種の苗木（地域性苗木）を植樹、生物多様性に配慮した植栽を実施します。

お問い合わせは、**土木課**（☎④8752）まで



竹林の間伐するかぐや姫プロジェクト



里山を整備する「薪割会」



富合小学校などに薪ストーブを設置



きれいに手入れされた里山



生態系を学ぶため池雑魚取り大会



住民により設置される「水田魚道」

【問合せ】 環境創造課 ☎④8716 FAX④6269 kankyo@city.kasai.lg.jp

## 熊本県水俣市での環境会議に参加、水俣の地域づくりに学ぶ

11月17日・18日の両日、熊本県水俣市において「環境首都をめざす自治体全国フォーラム in 水俣」が開催されました。このフォーラムは、全国から持続的な地域づくりに力を注いでいる自治体首長、学識経験者、市民団体代表が集まり、地方から環境のまちづくりを発信するものです。加西市からは2年連続で中川市長らが参加し、北条鉄道活性化の取り組みを主として環境面から発表し、大好評でした。

また、このフォーラムの開催に併せて、ふるさと営業課と環境創造課の職員各1名も水俣市を訪れ、同市の環境施策・地域づくりを勉強してきました。

かつて水俣市は、経済成長の過程で発生した水俣病という世界に類をみない公害を経験し、水俣市の豊かな自然環境だけでなく、差別によって人のつながりまでもが失われました。

その教訓を基に、環境で壊れた町だからこそ環境で町を立て直す「もやい直し運動」が展開され、今や全国有数の環境と地域づくりの先進地となり、加西市でも参考になる取り組みが数多くある地域です。

地区全体を建物のない博物館と見立てて、生活文化・地元食材を体験する「村丸ごと生活博物館」、国土交通省選定「観光農園による地域づくり・観光振興のカリスマ」福田農場ワイナリー福田興次社長へのインタビュー、地元菓子店と市役所職員有志がゼロから立ち上げた「スイーツのまち水俣」など、多くの先駆的事例を学ぶことができました。

今回視察した結果について、是非とも市民の皆様にご報告申し上げ、思いを共有したいと考えております。詳細を市ホームページに掲載すると共に、職員による報告会を次の通り行います。

**日時**／平成23年1月20日（木）18:00～ **場所**／アステアかさい3階集会室

【問合せ先】 環境創造課 ☎④8716 FAX④6269 kankyo@city.kasai.lg.jp



北条鉄道や加西市の環境施策について発表する中川市長



「村丸ごと生活博物館」昔の洗濯場に案内される

## 「暮らしの便利帳」を発行します

市では、市民生活に必要な情報をまとめて掲載する、加西市「暮らしの便利帳」を発行し、市内全域に無料配付する予定です。

「暮らしの便利帳」は、行政情報（福祉、子育て、戸籍や税金の申請手続きなど）に加え、医療機関などの地域情報、市内の観光情報、文化財、身近な情報の他、事業所の広告を掲載することで、実用性の高いものとなります。

この事業は、市と公募により協定を交わした(株)サイネックス社（本社大阪）と公民連携（PPP）手法で行います。

市は行政情報などを提供し、同社は編集、印刷、配付を行います。なお、経費は広告収入で賄うため、市の負担はありません。

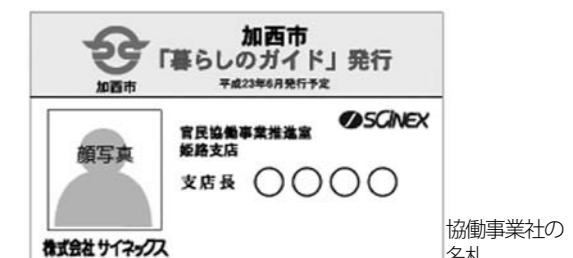
**規格・部数**／A4・カラー・両面、冊子型。18,000部

**発行予定日**／平成23年6月末。全戸無料配付

※サイネックス社が広告掲載依頼のため来年1月から、右図に例示する名刺・名札を携帯して市内各事業所をお伺いします。



協働事業社の名刺



協働事業社の名札

【問合せ先】 広告掲載は(株)サイネックス ☎079-222-7630、当事業担当は加西市経営戦略室 ☎④8700